



2000
MARCH

Kyoto Seika University
Alumni Association KINOKAI
SEIKAJIN

8
DIGEST
VERSION

京都精華大学同窓会 木野会
京都市左京区岩倉木野町137 〒606-8588
T.075-702-5201 F.075-721-9019

今回の座談会は、1999年12月18日

「精華の歴史と今、そして木野会」をテーマに

京都精華大学理事長の笠原先生(当時)と学長の中尾先生に
本会の入江会長との三者で行いました。



京都精華大学 理事長(前) 京都精華大学 学長
京都精華大学 同窓会 会長
笠原芳光 × 中尾ハジメ × 入江完

「精華の歴史と今、 そして木野会」を語る

【特集】
座談会

入江●開学三〇年を過ぎた今、同窓会「木野会」は、卒業生のみならず大学の歴史を伝えて、認識を新たに今後の活動の一助になればと考へ、今回の対談を企画しました。今日は、笠原先生と中尾先生に色々な角度からおおいに話していただきたいと思ひます。早速ですが、最近風化していると言われる建学精神の柱である「自由自治」が、私はやはり京都精華大学には一本の骨としてあるではないかと思ひます。それを筋としながらお話ししてもらえたら、と思ひます。

都精華大学では、「自由自治」というのが美辞麗句でなく今日までかなり、教職員はもちろんだ、学生、それから卒業生のみならず、あるいはそれに関わっている人々の中で評価され、あるいは批判されてきた。これは大変重要なことだと思ひます。

入江●その評価とか解釈はどのようでしょうか。

笠原●これは私の考えですが、「自由自治」、特にこの「自由」に両面があります。それは責任の理念であると同時に、無責任の理念である。(笑)

歴史的に自由という言葉は江戸時代までは、勝手気ままというが、もっぱら悪い意味で用いられてきたのですけれども、明治以降、たとえば自由民権運動とか、あるいはミル (John Stuart Mill) イギリスの哲学者・経済学者。一八〇六〜一八七三)の自由論「オン・リパティ」(On Liberty) というのが訳されたりして、自由という概念が「勝手気まま」ということよりもむしろ「解放」と言ひますが、束縛からの解放という積極的な意味で用いられるようになった。しかしながら、自由という言葉はその両面、つまりプラスの意味とマイナスの意味がある。

私は単純にプラスが良くてマイナスが悪いと言ひたいのですけれども、そういうものがずっと今日まである。ということとは、自由という思想は極めて危険な思想であると同時に、極めて素晴らしい思想である。だから「自由自治」があるいは評価され、また批判されてきた。

「自由自治」という理念が他の大学に比べてずっと問題になってきたのは大変良いことだと思ひます。

入江●なるほどね。

笠原●それで、たとえばこの大学には他の大学にないいくつかの特色があります。まず、創立

笠原芳光氏 京都精華大学名誉教授
京都精華短期大学開学以来要職を歴任。
学長として9年間、その後法人理事長として長年に
わたりご貢献をいただきましたが、昨年12月24日を
もって任期満了つき理事長を退任されました。



者というのがないのです。私は、岡本先生が創立者であると思っていたのですけれど、岡本先生は「私は創立者でない」とおっしゃった。それで私は「全員が創立者である」と言ったのです。教職員や学生はもちろん、これから入ってくる人も、精華に関わる人は全部創立者だということですか。創立記念日もないので、四月の何日かに最初の入学式があります。その日を創立記念日にしてないのです。ですから創立記念日は毎日である。

つまり、毎日が創立記念日であるということについては、毎日が滅亡記念日だ。そうでなかったら毎自然に出来るかもしれないけれど、今のところないですね。

と、このことは、すべての旗は精華の旗であり、すべての歌は精華の歌である、というふうにもいいのではないかと。

門衛所ふうなものは出来ましたが、鉄の扉のような門はいっさいないのです。もちろん、塀もない、どこからでも入れるし、どこからでも出ていける。それは、良くも悪くも「自由自治」の精神を表わしていると思っています。

入江●そうですね。たぶんこれは初年度の入学式に岡本学長からお聞いたと思いますが、「君らがこの精華の歴史を創るんだよ」ということを、また、岡本先生は、「自身は、残念ながらこの卒業生にはなりえないから、君らが歴史を創っていくんだよ」ということを言われて、非常に感動というか、肝に銘じた点なのです。だから、その頃から自分達のやることにイコール歴史になっ

ていくということ。特に一期生でしたから、そういうところを強く感じたのです。それがあ意味では「自由自治」にもつながることではないかと。

入江●そうですね。たぶんこれは初年度の入学式に岡本学長からお聞いたと思いますが、「君らがこの精華の歴史を創るんだよ」ということを、また、岡本先生は、「自身は、残念ながらこの卒業生にはなりえないから、君らが歴史を創っていくんだよ」ということを言われて、非常に感動というか、肝に銘じた点なのです。だから、その頃から自分達のやることにイコール歴史になっ

たと思いますが、批判を越えて大学を良くしていく思想ではなかったかと思っています。

入江●あの当時は、岡本先生から教員、職員、学生と、三者で大学を創っていくのだということをお聞きして、生意気に同様な意識を持つとしていた部分は確かにありました。

入江●ほかに何かおっしゃるか。

笠原●それから、この大学には他の大学にあつて、ここにはないものが多いです。

中尾●やはりその「自由自治」ということが、かなり軸になってずっと今まで来ている、いるに違いないと(笑)。それはただ言葉だけあるのではなくて、たとえば学生・教職員の間関係が明らかに他の大学と違うところがありますよ。

ただ問題は、たとえば岡本先生は自分が創立者でないといえますね。それを今度は笠原先生が駄目押ししてですね(笑)、毎日が創立記念日だといつようなこと言われる。

笠原●全員創立者であるよ。

ところが、延々三十一年、いまだに作られていない。別に作るという人もいないけれど、作ってはいけないと言っている人もいないわけですから、

中尾●これはどういう意味かと言つと、歴史感覚をやはり否定するところがあるんです。確かに

中尾●確かに「友愛」にせよ、それをもう少し

に権威主義的でなくていいんですけどね。ただどこなにか歴史を持っている存在だということが忘れられて、平板になってしまつたところがある。最初はよかったと思います。今もそれをすーっと、ある意味で「自由自治」の伝統を引き継いできていますから。

しかし、今の学生に岡本先生と言つたって、だれも知らないとかね。そういう歴史的なものもつていうのがなくなりつつある、ということもありません。

ガチツとした感じ、しつかりした感じの言葉で言う「自由自治」みたいなことがあったと思うんです。当初、美術科と英語英文科でスタートしたでしょう。この性格って言うかな、精神みたいなものってやはりずっと残っている感じがする。で、「自由自治」という言葉だけだったら、これは受け取る人によってさまざまでしょうけど、僕の受け取り方っていうのは、今だったら「歴史性がない」とかかっていささか批判的なことを言いますけどね、七〇年代の僕ならば、歴史性をむしろ否定しようという感じの方が強くてね……



荻原●現在性ですね、今は。

中尾●ただ、たいていの場合、自由をやったらどうなるかと言うとね、あまり高いものを求めようとしていく感じにはならないですね。「いいじゃないか」っていう、なんかそういう、これも平板な感じに思えますね。ところが精華大学の場合、やはり何か高いものを求めようとするかたち、方向性というのを最初に決められたような感じですね。

特に美術はそれが、はっきりしていたのではないかと。だから今でも残っているし、それがなかったらたぶん「自由自治」という言葉も

あまり意味なくなってしまうだろうな。芸術学問って、やはり何かあるのですよ、方向性が。たくさんの方があるかもしれないけれど、でもつまり低俗でない方へ行こう、より優れた方へ行こうということがあったと思いますね。そ

社会との緊張関係を持たないようになっている

入江●話は変わりますが、美術科を四年制にする話やと十一年目に実現した。その辺が転換期だったと思いますが。

荻原●それは大変でしたね。大学は、それまでは短期大学でしょ。大学というのは短期大学とはまったく違う大学ですから、新しく大学を創るわけですよ。だいたい金がなかったもの。大学創るのは、ものすごく金が必要なんです。それで英文科と一緒に大学にする力がなかった。

れをこんな小さなまあ当初ね——大学が持たたということば、それはやはりすごいだろうな。というのは、今はわかりますけれど、最初はやはりわからなかったですね(笑)。ただ楽しいだけだった。

いヒューマニズムの思想というか、そういうものとして広げたら、いわゆる学際的と言いますか、美術学部との相互交流も出来るだろうと思つて創ったのです。それにもうひとつは、美術学部とマッチする学部を創らなければということ、それでやっと出来たのです。

入江●先程、荻原先生から開学時の頃の学生気質についてお話がありました。話を最近に移しまして、今の学生が大学をやりたいこと、また大学に求めているものというのは、その頃と変化はありますでしょうか。

中尾●あるでしょうね。もちろん変わらない部分もありますが、日本中とにかく大学生の人数が増えたでしょう。三〇年前と今ではまったく変わってしまつて、たくさん若い人たちが大学に来ますね。本当に日本に大学がなかったら、もう大ピンチだと思いますよ。若い人達はどこへ行ったらいいんですか。(笑)

その後、片一方が短期大学で、片や大学だといふのはやはり、跛行状態になつていたので、それを何とかしようというので人文学部を創つた。国際学部とか、文学部とか、社会学部とかいろいろんな案がありました。しかし、「人文」という言葉を「人間とその文化」と言うかな。新し

今の若い人たちは入江さんが学生だった当時獲得しているある種の社会との緊張関係みたいなものを、今の若い人は獲得してないのですよ。むしろ、学校的な中で囲われてずっと育つて来たというかなあ。それはそれで大変な精神的問題なのですが。ただやはり社会的成熟というのは、僕のとくよりもまたずっと遅いでしょ。しかも、そういう人たちが大学で問題にする、あるいは対象にする、課題にするというのがもつとどうしても社会的なものがあるはずですよ。ここが難しい、なかなか。

それから、本当に自分でオリジナルに、昔のもの真似というところではなく何か問題意識を持つと思つても、社会との接点を持たないですつと来た人たちですから、わからないんだ、何やっていいか。

せいぜい言えることは、おそらく大学の教員あるいは、特に経営の責任を持っている連中はきつと悪いやつに違いないから(笑)、それに何かある種、反抗的なもの言いをしたら、それがたぶん「自由自治」なのだろう、いうぐらいのことしかできない。それはやはり気の毒と言えば気の毒ですけどね。そういうふうになっているんだと思つて、社会が、今は。

入江●学生に対する、かなり痛烈な批判で(笑)……。今はいきなり自分でそれを探していく社会状況で若い人は大変ですね。

中尾●若い人自身には、大変だという意識はあまりないと思いますよ。ないのが大変、僕らからしたら大変だろうな。

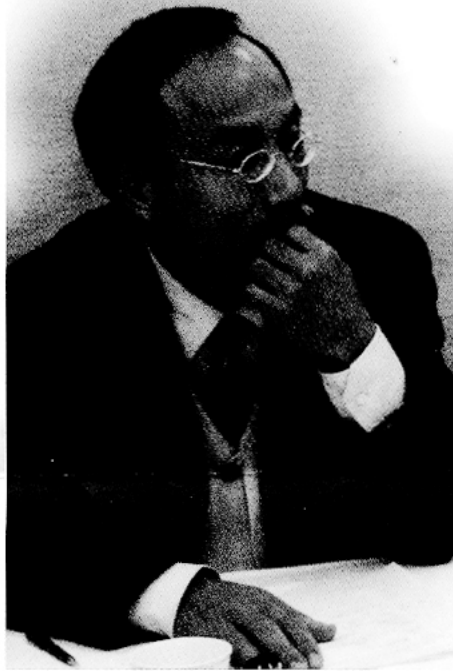
入江●ところで、中尾先生は先程、居心地が良かったと言われました。荻原先生もよかったです。私も、非常に心地よい学生時代を送りました。それこそもうめいばい遊び通したわけですけど。知人の話では「精華の学生は若倉・木野の山奥で、山ザルみたいに単に騒いどるだけや。かれらは世間から遊離されたところで、何も知らんと、ただ浮かれとるだけや」ということですよ。

荻原●最近ですか？

入江●何年前か前。それは本当の意味で現実的に遊離されて——遊離しているのかもしれないけど——そこで「自由自治」の名のもとに好き放題している。

それが甘い育ちになって、社会に出たとき、ギャップがものすごくある、とどういっているんです。その辺が今の総合的な気質なのでしょうか。

菅原●なにも精華だけではなくて、あらゆる大学で社会との緊張関係を持たないようになってきていると思います。いままでは自由を求めて、制約に対してはたかう、とこういうことが非常にエネ



ルギッシュなことになるのですけれど、今はある意味では社会全体がかなり自由になっているというところで、自由という言葉の鮮烈さがなくなっているんじゃないか。これは精華だけでなく、どの大学でも緊張関係が失われているのではないかなあ。だから学生運動もないですね。学生運動がすべていいわけではないですけども。

中尾●ただね、うちの学生はやはり楽しそうですよ。それは社会から遊離しているかもしれないけれども、なんて言うのかなあ……、どこかでそれは社会と向かい合ったときの力になっ

てほしいなあ、それは、「友愛」と言葉で言えるかどうかかわからないけれども。大学の中にいてそれぞれ、それぞれ社会的な視野などは持って

自分達のカラを破って変えてほしい

入江●ところで今、少子化で非常に厳しくなっている、という状況を大学が抱えています。そういう状況に向かって卒業生はどういう役割が果たせるのか。この小さな大学が少ない卒業生とどう関わっていくのか。その辺はいかがでしょう。

中尾●さっきの建学の理念に少し戻りますと、大学には「自由自治」でしょ。それから「人間尊重の教育」がありますね。どちらにも、やはり学問とか、あるいは芸術とかという高い低いの基準のある世界があって。その中でそういう主義を持つとどういこうかと思えます。

そして、もうひとつ「国際主義」ということがあります。これが、あまり具体化しなかった。現在、大学がおかれている社会全体がものすごい勢いで変わってきていて、その中で、価値を実現しようと思ったら当然実体的にも国際化をせざるを得ない。すべきたと思います。ところがこれは、今の大学内部の力でやはり出来ない。それから、社会全体はある種の圧力を、そこそこの外からいろいろ受けていますけどね。ところがあんまり日本人たちが日本のカラを破って何かしようという、そういう感じは無いですね。留学生を引き受け、この留学生をだ

ないかもしれないけれども、でもやはり相当自分を充分に発揮するとうか、そういうようなことはしているような感じがしますね。

それが関心を持って見守ってくれるだろうと。

精華の場合は、そのところを同窓会の人たちが手伝ってやってくれるだろうと。ちょっと突然くつつけたみたいな言い方でありしっくりこないかもしれませんが、留学生について卒業生たちが関心を持って……、それは非常に心強いだろうと、というふうに思っていますね。もう端的に言っちゃいますとね、留学するために日本での保証人が必要なのです。ところがこの保証人のなり手が居ない。大学の中で職員が保証人になるとかね（笑）、そういうけつたないことしてるわけ。「名前を貸してくれただけ」ではなくてね、やはりその留學生がどういいう人間であるかを知る。そういう保証人が卒業生の中から出て来てくれたらものすごくいいだろうな、というふうには思いますね。

入江●かなり具体的な話ですね。菅原●留學生という言葉が使われますが、この人達も京都精華大学の学生ですよ。つまり国際的な意味でいろいろなところから学生が集まっているというところから入江●留學生のこととわかれも何か出来ないかと考えています。保証人のことは素敵なことだと思えます。卒業生が具体的に後輩のお手伝いが出来ますからね。それに自治会と共催で留學生と交流会を持つ話しを現在進めています。まずそこを突破口でやってみよう。

菅原●「みな同じ京都精華大学の学生である」という意識をお互いに持つようにならな

かんですね。そして留學生は国際化の実現の大きな具体的な印ですね。

中尾●これはね、なかなか難しいところがある。ひとつは——ちょっと違う言い方しますが——学生の年齢ってありますね。たとえば二〇歳ぐらいの人たち。それは、文化・習慣・政治などを含めて認識の面で、日本の二〇歳ぐらいの人たちが持っている世界と留學生が持っている世界は違います。

菅原●なるほどね。中尾●むしろだから国際主義を言う側は、たとえば日本の学生は世界のことを知らないといかないですね。だけどそういうふうに出て来ない。それはたぶん出来ないことないです。やったら出来ると思いますが、まず先生たちがそういうことをはっきり意識していない。これがひとつあると思う。それからもうひとつは留學生が日本で生活するためには、学費の問題もあるけど、アルバイトしなきゃいかんのですからね。授業がないときはアルバイトしているのですよ。

菅原●そういう意味では余裕がない。中尾●そういう生活のパターンの違いと意識の違いがあって、なかなか思うようにはいかないところがありますね。でもそれを含めて、僕は日本人学生が勇気をもって、自分達のカラを破って変えてほしいなあと思えますね。

入江●多くの学生は、別にそこまでして交流を持たなくてもええやん、という部分がかかり今の学生気質としてあるみたいだね。菅原●いや、それとね、留學生と同じく社会人学生というね、この人達も学生ですから同じことなのですよけれども、社会人の学生が、たとえば文学部が出来たときにかなりユニークな、優れた社会人の学生が何人かおられて、非常によかったですって思っていました。これからは年齢で学生を区別するんじゃないかと、もう社会人もど

From KINOKAI

第12回木野会総会報告

第12回総会は1999年11月3日に本館三階会議室で開催されました。議長には評議員から三宅一正(70D)を選出。会長の入江完(68P)が開会の挨拶を行い、今年度



は本格的に支部・分会づくりにつとめ、また、留学生をも含めた将来の同窓会員ともなる在学生とのかわりを深めたいと述べました。議案提案は専務理事の新谷一男(70P)が99年度の活動報告と2000年度の活動計画を発表し、次に副会長の谷真美子(69E)が98年度の会計報告と2000年度の予算案を説明し、監事の王前謙(68D)が98年度会計の監査報告を行った後、再び谷副会長が99年度会計を次の評

議員会で承認いただくことを求め、続いて新谷専務理事が2000年度の役員・評議員の提案をしました。

こうしたすべての議案に会場からの異議はなく満場一致で可決されました。最後に甲斐さやか評議員(95D)から西日本支部の行事としてパフォーマンスと同窓会を組み合わせたイベントの計画が発表され、無事に閉会となりました。

総会終了後は昨年同様、明窓館横の常設テントにてささやかな懇

親会をもち、同窓生のみならず在学生や教職員の方々も駆けつけ、辺りがすっかり暗くなるまで宴は盛況のまま続きました。

京都精華大学同窓会「木野会」理事 宮城明和(77E)



韓国支部発動

韓国支部が本格的に動き出しました。昨年10月韓国ソウルで韓国支部発足のための話し合いが行われ、本部から入江同窓会会長(68P)、新谷専務理事(70P)、菜島理事(77D)。韓国支部から金琪祚会長(82XD)、金大鶴支部長(83D)、李璟来事務長(94M)が出席しました。支部としての年間事業計画、予算など討議資料をもとに検討し、韓国在住同窓生の名簿作りをおこない同窓生に参加を呼びかけることから始めることとなりました。

今回の会合においては、役員相互の考え



方の理解がもてたことと合わせて親睦が深くなったと思います。



第1回韓国支部同窓会開催

2月19日(土) SEOULにて第1回目の同窓会が開かれた。

当日集まった人数は10名ほどだったが、各人の留学時代の思いでや先生方の話に華が咲いた。また当日参加された方々を核に韓国支部を盛り上げていくことを約束しそれぞれ帰路についた。

どんどん入ってくるような、そういうのをつくらないと、もう十八歳人口を相手にしていたら、潰れるところだっただけ出て来るわけですから、もっと社会人にはたつきかけることです。留学生も社会人学生も学生であるということ、みんな活躍してほしいですね。

入江 ●そうですね。だと大学というところ自身、連帯意識という共同体意識みたいなものが薄れてきているのでしょうか、あえてそういうものを求めないという部分があるのでしょうか。

笠原 ●それはありますね。いわゆる共同体的な意識ではなくてきている。それはある意味では社会の趨勢でもあるわけだから。だから、

身が、連帯意識という共同体意識みたいなものが薄れてきているのでしょうか、あえてそういうものを求めないという部分があるのでしょうか。

入江 ●まさに同窓会木野会はその関係ですね。会話が弾み、これからの木野会がどのように関係

要ですね。

変な意味での共同体ではなくて、ゆるやかな、よい関係を作っていくことですね。それと、年齢を越えた交流は必要ですからね。国際化と同時に、「超年齢化」と言いかね、それは必要ですね。

入江 ●まさに同窓会木野会はその関係ですね。会話が弾み、これからの木野会がどのように関係

要ですね。

入江 ●まさに同窓会木野会はその関係ですね。会話が弾み、これからの木野会がどのように関係

EDO NO KAWARABAN

江戸の風版

編集：780西畑克彦、777Pイモト2号
デザイン：777Pイモト1号

3

2000年2月編集・木野会東京支部事務局
〒270-1145 我孫子市高野山226-2
山倉研志方「木野会東京支部」

東京支部2000年は こんなかんじです。

いきてるか
めしてるか



みなさんお元気ですか。今年は4年に1度の同窓会の年です。そんで今年の同窓会は木野祭を東京でやることにしました。金がなくともこんなにゴキゲン。みたいなことを精華魂とかかってに解釈して、東京で1日限りのパーティーでお祝いしたいと思います。当日手伝ってくれるDJやパフォーマー・楽器演奏の人がいたら東京支部の誰にでもいいますから連絡下さい。

少子化が進んでいるのになぜか厳しい就職状況、そんな新卒の人をこっちで働いてる人が優しく迎え入れる東京五月祭もやります。詳しくはホームページでもみれます。

去年の五月祭はこんなかんじでした。

あなたの知らない精華なつどい

同窓会、コンパ、異業種交流会、歓迎会、そのどれでもなく、しかしそのすべてを含んでいるのが「TOKYO五月祭」。改まったんちくはさておき「とりあえず呑む」というのが最大にして最高の主旨ですが、東京でこれほどいろんなタイプの精華人が一同に会する場所はそうめったにないでしょう。あなたの知らないこんなオヤジもあんなギャルも、もれなく精華人です。自当では何だっかってまいりません。夢、野心、たまったガス、燃える下心、なんでもご持参ください。精華を酒の肴に、東京という街がシラッと明るくなるまで呑みましょう。

99年の瀬ラッシュ。ラムとボン酒を

見繕い、淡麗と赤ワインをケース買い。「金あるうちに何買うべきか」で、真先に浮かんだもの。今は仕事無し、会社辞めて早2ヶ月。

東京に来たのが約1年前。新しい環境に毎日ワクワクしたり、泥酔してケンカ売って警察に連行されたり、夜中に泣きながら京都の友人に電話したり、手持ち人妻の失踪を手助けしたり、「もう25だろう？ヌード写真撮っとけば？」とハダカをしばしば見られつつ言われたり、消えかけの火加減でおいしいブリ大根作った、で。

どうにかなんとかなる、だろう。退職後も奮い立せず、自分の甘さ露呈、人の好意とチャンスを無にする結果しばしば。自分にも、他人にも言い訳ばかり。「京都に帰るの？」つたてどどこに帰んのよ。最近是在職時にも無かった神経性胃炎でキュー、頭のどっかに貯金残高がオコゲみたいにごびりついてビビッ。それでも出てこない人生設計、ふーはー。

とりあえず、タイにでも飛ぶよいらは。完全なる逃避と言われようが、「一人旅で自分を発見」に期待もないけど、これ「精華病」か？ま、いっか。うん、いっか。とにかく、東京五月祭で呑む。

95人文 田中佐緒



去年の東京五月祭。ただの飲み会に見えるかもしれませんが

1 第2回東京五月祭

東京五月祭は東京進出組の
新社会人と就職を考え

ている在校生を対象
にした親睦会です。

※五月祭はただの
飲み会ではありません。
せん。いちおう

期日 **5月27日** (土)

時間 **PM 6:00~8:00**

昨年開催して好評を得た東京五月祭。
今後は定例化していきます。

希望と不安が混じった新社会人の東京生活。「つーと言えは精華。」というように「共通の話題で解りあえる東京の友人を作ろう。」「東京でも精華人同志のネットワークがあってもいいじゃん。」という意図の五月祭です。そこで、卒業生のみならず、当日は、生きた東京(業界)の情報交換ができるように、雑誌、映像(CF、テレビ)、デザイン、音楽、テキストスタイル等の世界で既に活躍している諸先輩からのエール交換の場も設けようと考えています。「こういう仕事の話なら先輩に話せるよ。」という方は是非、支部事務局へ御連絡ください。



BACK YARD
JR恵比須駅西口より
徒歩4分

2 9月東京支部主催 「踊る大同窓会」 開催

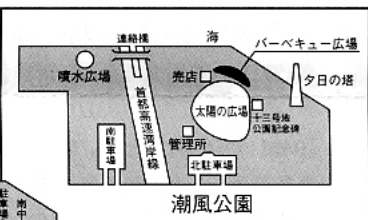
★ TOKYO ODAIBA ★
2000年9月某日 土曜日
踊る湾岸同窓会

2000
雨天決行

Free Love Peace 景気回復

当日・変装・コスプレ・女装(女性の方は男装)・大歓迎!!
遅れなく景品あり!!
会費はたぶん2000円ぐらいです。
もちろんご子息令嬢はタダ。

詳細は調整中ですが、「世紀末同窓会は、東京木野祭じゃ!!」という方針で、あのドラマ「踊る捜査線」の湾岸に在り、東京の最新デートスポットのお台場の公園内で開催します。木野祭感覚です。あくまで同窓会というのは皆さんが集まるきっかけです。そこから、各ゼミ会とか、クラス、クラブの親睦会が開催されたと願ってます。各幹事の皆さん御協力ください。詳細は順次「電腦江戸のかわら版」URLで公開していきます。



★駐車場(有料)
北駐車場:120台
南駐車場:260台
※酒飲みの方は車の運転を御遠慮下さい。

- 交通
- 東京臨海新交通 ゆりかもめ「台場」または「船の科学館」下車
 - JR「浜松町」から都バス(虹01系統)東京ビッグサイト行き、テレコムセンター駅前行き「潮風公園入口」「台場」下車
 - 京浜急行バス(大森駅~船の科学館)「13号地海底トンネル入口」下車
 - 都観光汽船(船の科学館ライン)「船の科学館」下船
 - 東京水辺ライン(両国~葛飾)「青海」下船

『電腦江戸のかわら版』可動中。必見URLは
<http://www.ne.jp/asahi/seikajin-tokyo/ufo/>

皆さんからの投稿を
お待ちしております。



KINO WEST 4

〒709-08 岡山市中尾472
(株)岡山城東広告内 津下勝年 (74D)
TEL・086-297-9601
FAX・086-297-2399
Email・tsuge@oka.urban.ne.jp
URL・http://www.kyoto-seika.ac.jp/seikajin/nishi/n_index.html

※西日本支部への連絡も上記へ。

二千年やこゆーて、
年が明けても
生活はなんも
変わらんのじゃが。

西日本にも、
20世紀最後の年は
やって来ました。
いきなり世界は
変わらなけれど、
何か新しいことを
始めたいですねー。

やつぱり締めは忘年会。

1999年12/12

1999年10月17日

尾道にて役員 会議開催!!

新瀬戸大橋「島なみ街道」を利用し
ての四国からの交通の便を考慮しま
して、大林宣彦監督の映画で有名な
広島県尾道市にて、行われました。
なかなか、エリアが広いため集合率
の悪い西日本支部ですが、
今回は大盛況！広島・岡山・香川・
愛媛より支部役員10人が集まり、熱
く語り合いが行われました。
↓議題その1 決算報告。滞りなく
終了。

↓議題その2 来年度の活動計画
そーです！この来年度の活動(平成
12年度)というのが大問題なのです
やっと思案さん呑み食いばかりやって
いたのではダメだと気付き作品展を
することに決定。
それと平成12年度は広島で同窓会を
開催することとなりました。
活動方針が決まったことで、またま
た祝杯！瀬戸の生魚料理をあてに
大宴会に突入。



12月12日の日曜の夕方、各々片手にワイ
ン、手料理、花など持参して集った老若
男女8名。1998年の忘年会および西日本
支部役員総会は倉敷の渡辺直美さん(68
E)のお宅を皆で襲撃して開催。いつも
通りのドンチャン騒ぎとなりました。帰
宅した渡辺さんの旦那様はわが家に乗っ
取られ、やばいと思ったのかスゴスト
近所の喫茶店に逃走。続いて帰ってきた
高校生の息子さんも、立岡さんの「ちょ
っとこっちへ来い」の一言で説教される
は、褒めちぎられるはのどんだ災難。二
次会は、女性陣からオカマバーに行こう
と言う意見、渡辺さんの説に依ると、オ
カマさんがスッポンポンになって、チン
チンを又挟んでおどるらしいのです、
男性の私としては「オカマ」と聞いただ

けでサブイボ状態！なんとオカマバー
行きを断念させて、例年通り、ケントス
での大ディスコ大会になり、おじさん、
おばさんの健在ぶりを確認しました。こ
のようにして昼3時から始まった忘年会
は午前0時に解散となりました。渡辺さ
んありがとうございました。皆様お疲
れ様でした。
ちなみに今年も昨年同様 桜ビール大会
(春の集会)。生ビール大会(夏の集
会)。紅葉ビール大会(秋の集会)と
活動計画が盛りだくさん？
西日本支部では人材を広く募集中です、
多少社会性がある方でしたら性格、財
産、嗜好は問いませんので参加してくだ
さい「WE NEED YOUR HE
LP! CATCH US!」

SEIKAパフォーマンス2000

京都精華大学同窓会「木野会西日本」も発足以来5
年になろうとしています。中国地方、四国地方では
岡山、広島、山口、香川、愛媛、徳島県に分会組織
を持ち、各県単位での同窓会も何度か開催することが
できました。その中で、精華の卒業生がどんな仕事を
しているのか知りたい、情報交換がしたい等の意見が
多数あり、今年度の西日本支部活動として
「SEIKAパフォーマンス2000」なるイベント
を開催しようではないかと言う意見がでて来ました。
概要としては、
●卒業生の活動状況の発表の場として、絵画、彫刻、
デザインなどをはじめ執筆活動、ダンス、パフォー
マンスなど幅広い分野での表現活動を紹介できる場
にしたい。
●情報交換、意見交換の場として同時にレセプション
パーティを開催いたします。
●大学との共催も考慮にいられており、教職員、在校
生の参加も呼びかけたい。
●美術科だけでなく、英文科、人文学部の卒業生、在
学生も対象にする。
●呼びかけは西日本支部在住者(中四国地区)に行
うが、その他の地域の参加も認める。
●開催地は中四国地方の主要な都市になる予定。
現状で決まっているのはこの位なのですが、これから
協力者、参加者を募集して細部を煮詰めて行きます。
ぜひとも下記アンケートにご協力下さい。

FAX、メール、郵送のいずれかで西日本支部事務局
迄ご返事下さい。

入学年度 専攻 (旧姓)
お名前 ()
ご住所
電話
FAX
Email
URL
職業(勤務先)

SEIKAパフォーマンス2000に
参加したい 場合によっては参加したい
もしよかったら現在の活動状況をお知らせ下さい

INFORMATION

WELL COME 精華人 NEW

木野会報「精華人」は今年度から卒業式に合わせて発行されることになりました。これによって新同窓生へのnew Addressの登録のお願い、東京五月祭の案内。また、会員への木野会総会の報告、会計報告を速やかにお知らせすることができるようになりました。本誌8号はDigest版ですが、9号からは盛りだくさんの情報をお届け致します。

懸賞作品募集

「表紙デザイン・文中カット大募集」

木野会会報誌では誌面に使用する作品を広く募集しています。表紙面を思い切りあなたの絵・デザイン・写真で飾ってください。残念ながら本誌はDigest版につき懸賞作品は採用されていませんが、次号用の大胆な作品をお待ちしています。

●賞金・賞品

表紙デザイン1点…3万円
文中 使用カット1点に付…テレフォンカード

●応募方法

サイズ:縦18cm×横18cmの中で
技法:イラスト画、写真、版画など自由。ただし色は一色刷です。
カット画:自由に描いてください。

作品の裏には必ず作品のタイトル・コメント・住所・氏名・学籍番号・電話番号を記入してください。

●締め切り 平成12年11月末日必着

●宛て先

〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町137
京都精華大学同窓会木野会「会報 表紙デザイン」係

木野会から

「"精華人"は会員のみ配布」

精華大学同窓会会報誌「精華人」(旧 木野会報)は、毎年一回会員(93年度生以降全入学生入会済み)のみに配布されています。本年度から精華人は、3月の卒業式の前に会員の皆さんに発送されます。また、新同窓生の皆さんには卒業式当日、他の書類と共に手渡されます。これは、半数近い人の住所録が最終学年の下宿の住所になっているため新たに住所登録を求めためでもあります。実家に戻られる方、転居される方、変更されない方すべて登録直してください。登録されな

いと「不明」になることがあるので注意してください。

各地域で、もっと最近の大学の様子が知りたいといった意見を伺います。「精華人」ではそういった意見を取り上げ、会報誌の充実を計って行きたいと思っています。一人でも多くの方が木野会に参加されることを望んでいます。また、「精華人」の届いていない、未入会のお友達を是非お誘いください。

「入会は簡単」

郵便局備付けの用紙に学籍番号(入学年度・学部・学科)、住所・氏名(旧姓)電話番号を記入の上、終身会費1万円をお振込みください。
口座番号:京都01000・0・42332
金額:10,000円
京都精華大学同窓会木野会 宛

「ご投稿のお願い」

- 木野会会報「精華人」にふさわしい新コーナーのアイデアを募集しています。
- 「Who's Who」のコーナーへの投稿・取材依頼、お待ちしております。
- 展覧会、個展、イベント等の広報コーナー充実のため情報をお寄せ下さい。

「お願い」

卒業生宛の郵便物が転居、住所表示変更などのため返送してくる場合がかなりあり、多くの卒業生が消息不明のままになっています。お友達の中で「木野通信」や木野会に入会しているのに「会報」等が届いていないという方がおられるようでしたら、必ず同窓会「木野会」事務局まで、その方の氏名(学籍番号)と変更された住所をご一報ください。また、お問い合わせ等がございましたら、ご遠慮なく「木野会」事務局までご連絡ください。

総会のご案内

「第13回 木野会総会」

と き: 2000年11月3日(金・祝)
と ころ: 京都精華大学

木野会では毎年「木野祭」開催最終日に総会を開いています。会の企画・運営、会計報告などを会員の方々に報告し意見を伺う場としています。また、総会後は学生気分、同窓会ブースで一息いれて、在学生達の模擬店・フリーマーケットには入り込んで楽しみましょう。詳しくは追って通知致します

お知らせ

「本誌はDIGEST VERSION」

9号からは、盛沢山の情報をお届け致します。
☆誰に回って行くのか楽しみな精華数珠繋ぎ、7号最後の上原宏子(76D旧姓 高井)さんから…木曾健司(75D)さんへ飛びますよ。
☆Teachers Voice どんな先生に登場して欲しいかご意見お待ちしております。
☆Who's Who 誰が何処で何してる?あなたの近くに精華人はいる。
☆This is My Space 美味しいお店ですか?どんなもの扱ってるのですか?デッサン教えて!英会話教えて!精華人が営むそんなお店 教室を紹介します。どうぞ、お楽しみに。

「耳寄り情報」

全学年を対象にした学部・学科・クラブなどの分野別の同窓会を催す場合、同窓会事務局に申し入れれば広報に必要な費用を負担してもらえる制度ができました。幹事さんは要チェックですよ!詳しくは同窓会事務局まで。

「手伝って〜!」

4月を目標に同窓会専用のホームページを正式に立ち上げます。現在、大学のホームページ内にある同窓会ホームページは情報紹介のみの構成ですが、今後は、より多くの精華人同志の情報交換と交流の場にしていきたいと計画していますので、在宅スタッフでOKですので、ホームページ用にアイデアや文書を書いていただける方を募集しています。西垣克啓(78D) 連絡先E-mailは、24gaki@k.email.ne.jp 大学内にある同窓会URLは、http://www.kyoto-seika.ac.jp/seikajin/index.html

「シンガーソングライター あらい 舞・復活」

長らく育児休暇をとっていた"あらい 舞"こと小林秀子(77P 旧 荒井)がKBS京都ラジオ水曜18:00~「ラジオ 小林家」でパーソナリティとして旦那様と活躍されています。時にはスタジオ内に子供達がいらっしゃる、舞ちゃんの「それあかん あかん」コールがあったりするのも育児休暇明けならではの、愛嬌のあるON AIRが楽しめます。3月末にはライブハウス「都都我我」でライブの予定とか…わくわくは直接ライブハウスにお問い合わせください。